

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 1 区分
 【発行日】平成 19 年 3 月 15 日 (2007.3.15)

【公開番号】特開 2000-291410 (P2000-291410A)
 【公開日】平成 12 年 10 月 17 日 (2000.10.17)
 【出願番号】特願 2000-19611 (P2000-19611)
 【国際特許分類】

F 0 1 D 25/24 (2006.01)

F 0 1 D 5/18 (2006.01)

F 0 1 D 9/00 (2006.01)

【F I】

F 0 1 D 25/24 K

F 0 1 D 5/18

F 0 1 D 9/00

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 1 月 29 日 (2007.1.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

前端 5 4 と反対側の後端 5 6 とそれらの間の中央部 6 4 とを有するパネル 4 8、及び冷却空気を導くためパネル 4 8 を貫通した複数の冷却孔 6 6 であって上記中央部の後方において中央部の前方よりも高い密度のパターンで配設された複数の冷却孔 6 6 を含んでなるタービンシュラウド 4 0。

【請求項 2】

前記複数の冷却孔 6 6 が、総合的に中央部 6 4 の後方において中央部の前方よりも多くの冷却空気をパネル 4 8 を通して導く寸法を有する、請求項 1 記載のシュラウド。

【請求項 3】

前記複数の冷却孔 6 6 が、パネル 4 8 において周方向にかつ中央部 6 4 と後端 5 6 の間で軸方向に隔設されている、請求項 2 記載のシュラウド。

【請求項 4】

前縁 3 4 と後縁 3 6 の間に延在しかつシュラウド 4 0 から半径方向に離隔してシュラウドとの間に先端ギャップを画成する半径方向外側先端 3 8 を各々有する 1 列のタービン動翼 2 6 と組み合わせた請求項 3 記載のシュラウドであって、

前記パネル前端 5 4 が先端前縁 3 4 の前方に隔置されており、

パネル後端 5 6 が先端後縁 3 6 の後方に隔置されており、しかも

パネルを貫通した複数の冷却孔 6 6 の前記高い密度のパターンが動翼先端の翼弦中央部と後縁 3 6 の間の上方に配設されている、シュラウド。

【請求項 5】

前縁 3 4 と後縁 3 6 の間に延在する半径方向外側先端 3 8 を各々有する 1 列のタービン動翼 2 6 を囲むタービンシュラウド 4 0 であって、

動翼先端 3 8 に面していて動翼先端 3 8 と共に先端ギャップを画成する内面 5 0 と、反対側の外面 5 2 と、先端の前縁近辺に配置可能な前端 5 4 と、先端の後縁近辺に配置可能な後端 5 6 と、前端と後端との中間に位置し動翼先端の翼弦中央部近辺に配置可能な中央部 6 4 とを有するパネル 4 8、

パネルを支持するためパネルの前端及び後端のそれぞれと一体結合した前方フック 5 8 及び後方フック 6 0、及び

冷却空気を導くため上記パネルの外表面 5 2 と内面 5 0 を貫通した複数の冷却孔 6 6 であって中央部 6 4 の後方において中央部の前方よりも高い密度のパターンで配設された複数の冷却孔 6 6

を含んでなるタービンシュラウド 4 0。

【請求項 6】

冷却孔 6 6 は中央部 6 4 の後方で中央部の前方よりも大きい総合流れ面積を有する、請求項 5 記載のシュラウド。

【請求項 7】

パネル内面 5 0 が中央部 6 4 と前端 5 4 の間で無孔である、請求項 6 記載のシュラウド。

【請求項 8】

シュラウドパネル 4 8 における冷却孔パターンが、冷却空気を動翼先端 3 8 上方の先端ギャップ内に動翼先端の前縁 3 4 の後方に放出するように位置づけられている、請求項 7 記載のシュラウド。